

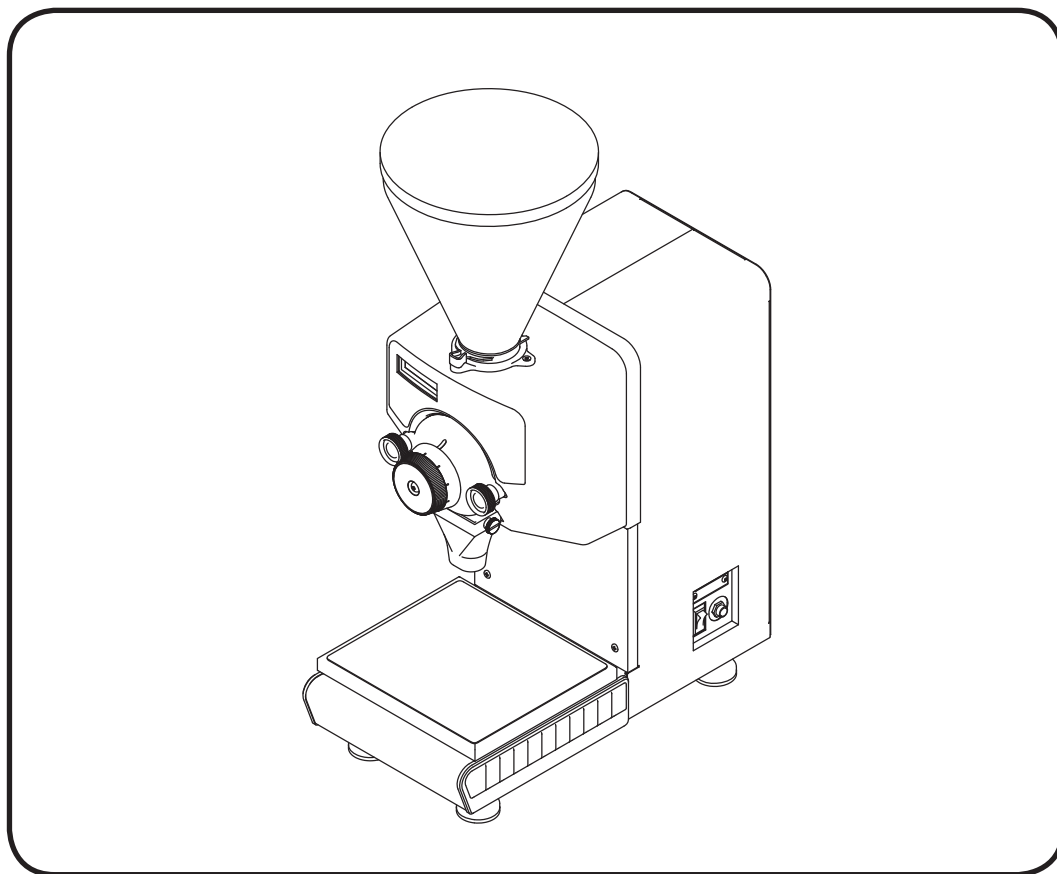
# CT-Mill

お客様用

## — 取扱説明書 —

型式：CT-Mill（業務用）

計量部は精密機械です。  
取扱いにご注意願います。



- このたびは、当社の計量機能付きドリップコーヒー専用ミル「CT-Mill」をお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、必ずいつも手元においてご使用ください。
- 製品と本内容は予告なく変更されることがあります。ご了承くださいませようお願い致します。

据付説明付

# 目次

## 本機をお使いになる前に 1

安全上のご注意…………… 1

本機の使用にあたって、  
必ず守ってください…………… 2~4

### 各部の名称

本体…………… 5

操作スイッチパネル部…………… 6

## 第1章 操作手順 7

使用前の準備…………… 7

コーヒー豆の挽き方…………… 8~9

メッシュ(挽きの粗さ)の調節について…………… 10

豆挽き量の変更方法…………… 11

## 第2章 お手入れについて 12

本機のお手入れ時には  
必ず守ってください…………… 12

毎日おこなう洗浄と清掃…………… 13

週に1回及び必要時におこなう洗浄と清掃

豆詰まりや粉詰まり時の清掃方法…………… 14~15

計量台の清掃方法…………… 16~17

## 第3章 据付けについて 18

本機の据付け時には必ず守ってください… 18~19

## 第4章 修理を依頼する前に 20

仕様…………… 23

保証書(別添付)について/消耗部品  
/補修用性能部品の保有期間…………… 25



# 本機をお使いになる前に

## 安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。




表示と意味は次のようになっています。

### 【注意喚起シンボルとシグナル表示の例】

 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

\*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

### 【図記号の例】

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の近くや中に絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 接触禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

## 本機の使用にあたって、必ず守ってください

### 警 告

●本体に直接水をかけないこと

ショート、感電、故障の原因になります。



水掛け禁止

●修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理は行わないこと

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があるとショート、感電、火災の原因になります。



分解禁止

●改造は絶対に行わないこと

改造をされると、容器からの液漏れやショート、感電、火災の原因になります。



改造禁止

●廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、子供などがケガをする原因になります。



専門業者

●電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ぐらつかないように確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検清掃

●漏電遮断器または、サーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動したときは、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、感電や火災の原因になります。



連絡

●機械内部の電気装置や配線に触らないこと

やけどや感電の恐れがあります。



接触禁止

●濡れた手で電源プラグなどの電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



濡手禁止

本機の使用にあたって、必ず守ってください



## 警告

- 異常時はメイン電源スイッチを切って機械を止め、電源プラグを抜くか、本機専用電源を『OFF(切)』にしてすぐにお買い上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けるとショート、感電、火災の原因になります。



プラグを抜く

- ガス器具などからガスが漏れていたら、ガスの元栓を閉めて、窓を開けて換気すること

メイン電源スイッチを入れたり、電源プラグを抜いたりすると引火爆発し危険です。



ガス栓閉

- ミルカッター内部に指、箸、スプーンなどを入れないこと

ケガ、故障の原因になります。



挿入禁止

- ノブを外してミルカッター一部を開ける場合は、メイン電源スイッチを切って機械を止め、電源プラグを抜くこと

誤って電源スイッチに触れた場合、ケガをする恐れがあります。



プラグを抜く

- ホッパーを取り外す場合やホッパーの中に手を入れたりする場合は、メイン電源スイッチを切って機械を止め、電源プラグを抜くこと

誤って電源スイッチに触れた場合、ケガをする恐れがあります。



プラグを抜く



## 注意

- 本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気用品の絶縁が悪くなり、漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると電源プラグ内部で電源コードが傷つき、ショート、感電、火災の原因になります。



禁止

# 注 意

●熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱でプラスチックが変形したり、破損したりした場合ケガの原因になります。



熱器具禁止

●可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないこと

本機のメイン電源スイッチを入れたり、電源プラグを抜いたりすると発火の原因になります。



可燃物禁止

●常時、ホッパー蓋は閉めておくこと

開けたままにしますと、不純物（虫、ホコリなど）が混入することがあります。



開放禁止

●お手入れのときや点検のときは、必ず電源スイッチを切って機械を止め、電源プラグを抜くこと

感電したりケガの原因になります。



プラグを抜く

●洗剤を使ったあとは、洗剤成分を十分拭きとること

洗剤成分が残っていると、健康障害の原因になります。



拭きとる

●漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



動作点検

●このお使いになっている商品を転売したり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を本体の目立つ所にテープ止めすること



テープ止め

●計量売りはできません

本機は検定および取引証明が必要な取扱はできません。



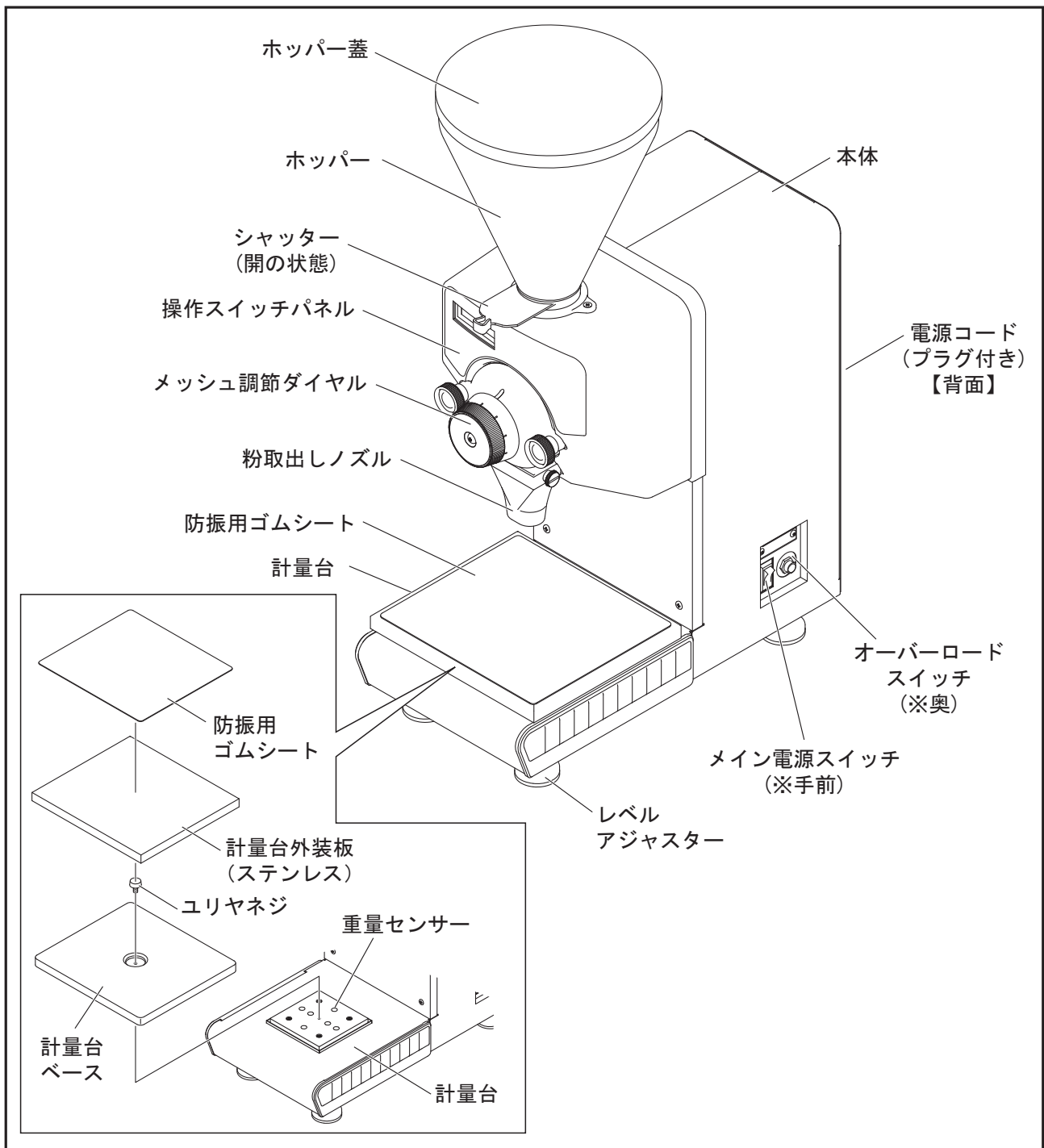
禁止

本機の使用にあたって、必ず守ってください/各部の名称

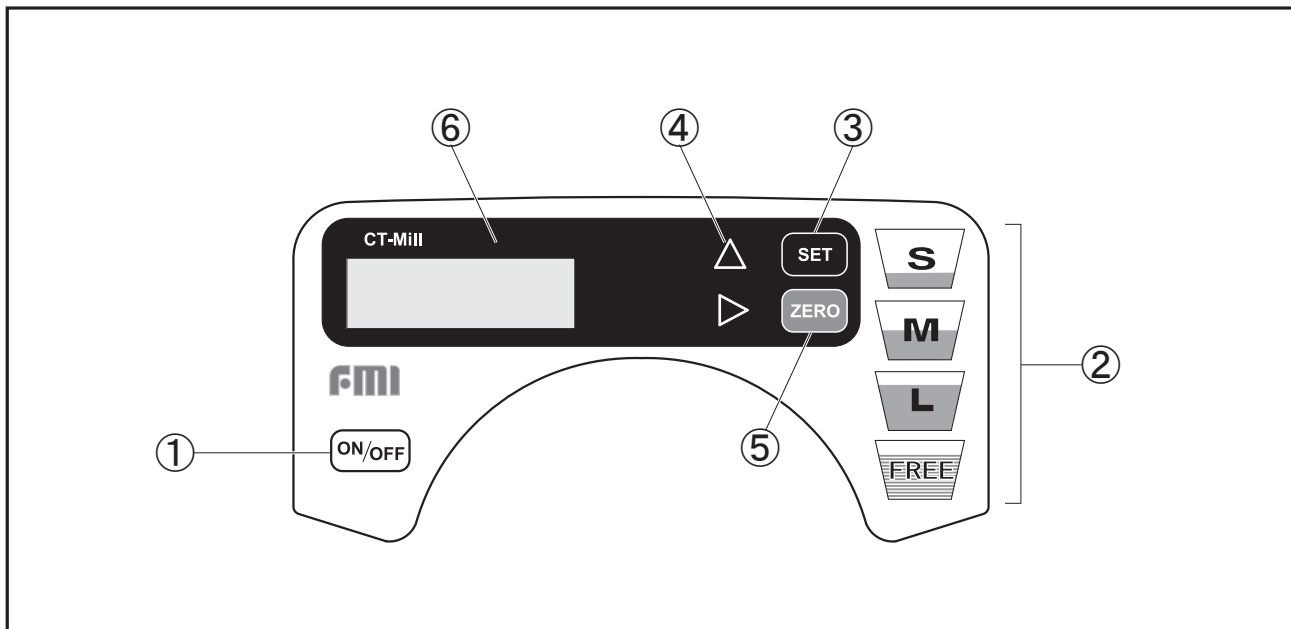
## 各部の名称

- 本機は、ドリップコーヒー専用でコーヒー豆を挽く機械です。
- 特長・・・前回計量した誤差を修正する動作をします。  
例) メッシュを変更した直後、50g設定に対して53gが出ました。  
次回計量時には、-3gの動作を自動で行います。

### 本 体



## 操作スイッチパネル部



### ① ON/OFFスイッチ

電源をON/OFFします。

本体右側面のメイン電源スイッチがONになっていないと電源は入りません。

### ② コーヒー豆挽きスイッチ

コーヒー豆を挽くときに使用します。

- ・ 「S」「M」「L」：計量運転してコーヒー豆を挽くときに使用します。  
(豆を挽く量の変更については11ページ)

工場出荷時

「S」	50g
「M」	100g
「L」	150g

- ・ 「FREE」：連続で豆挽きしたいときに使用します。

### ③ SETスイッチ

「S」「M」「L」に設定されている豆挽き量を変更するときに使用します。  
(設定量の変更については11ページ)

### ④ カーソルスイッチ

設定量の数値の増減やカーソル移動に使用します。

### ⑤ ZEROスイッチ

重量表示のゼロ調整を行いたいときに使用します。

### ⑥ ディスプレイ

本機の状態やg数などを表示します。



# 1

## 操作手順

### 使用前の準備

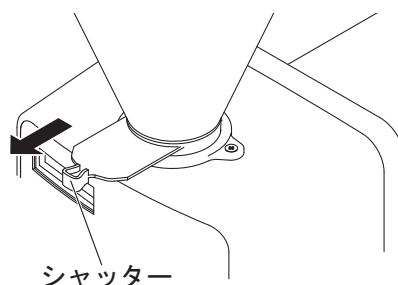
1 1 ご使用になる前に、ホッパーを清掃してください。

- 『お手入れについて』（12ページ）参照。

2 2 ホッパーを本体にセットしてください。

3 3 ホッパーのシャッターを開いてください。

- シャッターを機械の手前方向に引き出して開けてください。



シャッター

4 4 ホッパー内にコーヒー豆を入れてください。

- ホッパー蓋を取り外し、コーヒー豆（最高 1.0kgまで）を入れてホッパー蓋をセットしてください。

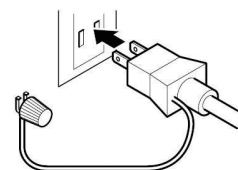
#### お願い

- ・本機はドリップコーヒー専用のコーヒーミルです。エスプレッソ用コーヒー豆のように油分が多いコーヒー豆は使用しないでください。粉取出しノズル内部の詰まりの原因になります。

5 5 防振用ゴムシートを計量台の上にひいてください。

6 6 電源プラグを接続ください。

- メイン電源スイッチを入れてください。  
本体右側面にあるメイン電源スイッチを『ON』の方向に倒し、電源を入れてください。  
本体正面のディスプレイに「システムタイキチュウデス」と表示されます。



システムタイキチュウデス

# コーヒー豆の挽き方

1 メッシュ(挽きの粗さ)調節ダイヤルの設定を確認してください。

- メッシュ調節の方法については10ページを参照してください。

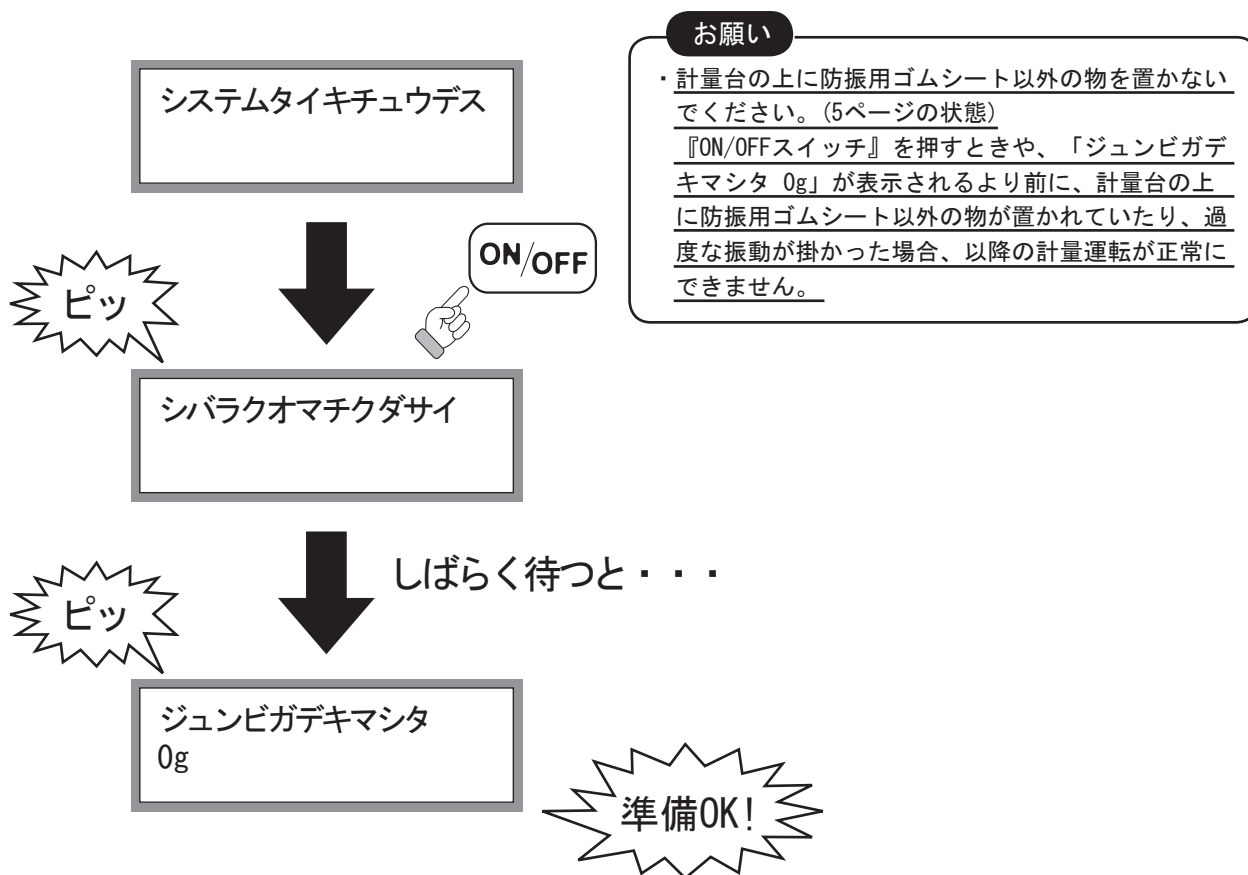
2 計量台の上に付属品の防振用ゴムシート以外の物が置かれていないことを確認してください。(5ページの状態)

## お願い

- ・計量台の上に防振用ゴムシート以外の物を置かないでください。(5ページの状態)

3 操作スイッチパネル部の『ON/OFFスイッチ』を押してください。自動で計量器のゼロ調整を開始します。

- 「ピッ」音が2回鳴ると計量の準備が完了し、ディスプレイの表示が「シバラクオマチクダサイ」から「ジュンビガデキ マシタ 0g」に変わります。



## 4 計量台の上に容器（フィルターをセットしたコーヒー抽出用ファンネル、もしくは付属のコーヒー豆受けカップ）をセットしてください。

### お願い

- ・計量台に過度の衝撃を与えないでください。  
過度の衝撃を与えると、故障の原因になります。
- ・容器をセットする際は、計量物（計量台、容器、コーヒーフィルターなど）に、非計量物（本機の粉取出しノズルや筐体、周辺に置かれた物など）が接触しないようにセットしてください。  
計量物に非計量物が接触している場合、正常に計量運転ができません。
- ・使用する容器は必ず総重量1500g以下のものを使用してください。

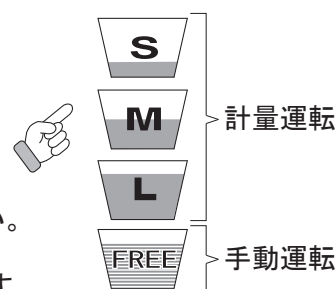
## 5 操作スイッチパネル部のいずれかのコーヒー豆挽きスイッチを選択して押してください。

- コーヒー豆を挽き始めます。  
コーヒー豆を挽いている間はディスプレイに「マメヲヒイテイマス」と表示されます。

『S』『M』『L』スイッチのいずれかを押した場合  
それぞれのスイッチに設定された量の豆を挽きます。  
(設定量の変更方法については、P11をご覧ください)

『FREE』スイッチを押した場合  
連続して豆を挽きます。  
停止する際は、もう一度『FREE』スイッチを押してください。

豆挽きが終了すると「ジュンビガデキマシタ」の表示に戻ります。



### お願い

- ・計量運転が正常にできない場合は、計量器のゼロ調整をやり直す必要があります。  
計量台の上の容器などは降ろして、ゴムシートのみの状態 (P5のように) にしてください。  
一度『ON/OFFスイッチ』をOFFしてから「P8 手順3 操作スイッチパネル部の『ON/OFFスイッチ』」を押してください。自動で計量器のゼロ調整を開始します。」の操作をやり直してください。

## 6 豆挽きが終了したら容器を計量台の上から取ってください。

## 7 コーヒー抽出用ファンネルをご使用の場合は、コーヒーマシンにセットしてコーヒーを抽出してください。

(コーヒーマシンの使用方法は、コーヒーマシンに付属している取扱説明書を参照してください。)

## 8 再度コーヒー豆を挽く場合は、「4」～「7」の手順を繰り返しておこなってください。

## メッシュ(挽きの粗さ)の調節について

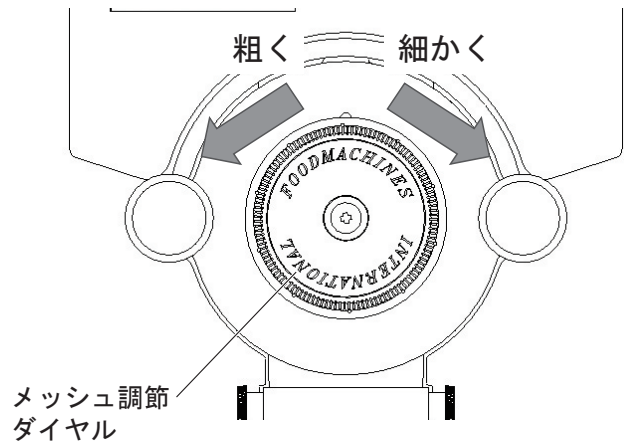
コーヒー粉のメッシュは、実際にドリップコーヒーを抽出して、抽出の状態を確認し、お客様のお好みになるよう調節してください。

メッシュ調節ダイヤルを回してください。

メッシュ調節ダイヤルを回すときは、ゆっくり1目盛ずつ回し、その都度実際に豆を挽いて粗さを確認してください。

メッシュを細くしたい場合  
ダイヤルを時計回りに回してください。  
(ダイヤルの数字が小さくなる方向)

メッシュを粗くしたい場合  
ダイヤルを反時計回りに回してください。  
(ダイヤルの数字が大きくなる方向)



### お願い

- ・ミルカッターの寿命が過ぎると、メッシュ調節をおこなっても細かくグラインドができなくなります。ミルカッターは消耗品のため、使用状態により交換が必要になりますので、お買い上げ店に連絡してください。
- ・本機はドリップコーヒー専用ミルです。  
エスプレッソの豆のようにメッシュを細かく挽きすぎると、粉取出しノズル内で詰まる原因になります。  
また、正しく計量できません。  
粉取出しノズルが詰まると、保護装置が動作し、ミルモーターが停止します。

## 豆挽き量の変更方法

操作パネルスイッチ部のコーヒー豆挽きスイッチ『S』『M』『L』それぞれの豆挽き量の設定を変更できます。

1 操作パネルスイッチ部の『ON/OFF』を『OFF(切)』にしてください。

- ディスプレイに「システムタイキチュウデス」と表示されます。

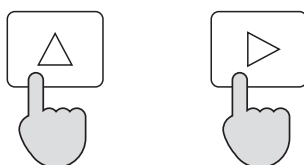
2 「SET」スイッチを押してください。

- ディスプレイに下図のように表示されます。



3 カーソルスイッチ『▲』もしくは『▶』を押して『S』『M』『L』のいずれかを選択してください。

- 各スイッチの豆挽き量を設定してください。



お願い

- ・ 設定量は、15g～999gの範囲で設定してください。

4 『SET』を押すと変更内容が確定して「システムタイキチュウデス」に戻ります。

- 変更をキャンセルしたい場合は「ON/OFF」スイッチを押すと変更内容が反映されずに「ジュンビガデキマシタ」に戻ります。



# 2

## お手入れについて

いつも安全で清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、作業終了後は各部をお手入れしてください。

本機のお手入れ時には必ず守ってください



### 注意

- お手入れのときや点検のときは、必ず電源スイッチを切って機械を止め、電源プラグを抜くこと。  
感電したりケガの原因になります。



- 本機に直接水をかけないこと  
漏電、ショート、錆、故障の原因になります。



本機のお手入れ時には必ず守ってください/毎日おこなう洗浄と清掃

## 毎日おこなう洗浄と清掃

- 粉取出しノズルは毎日、洗浄と清掃をしてください。

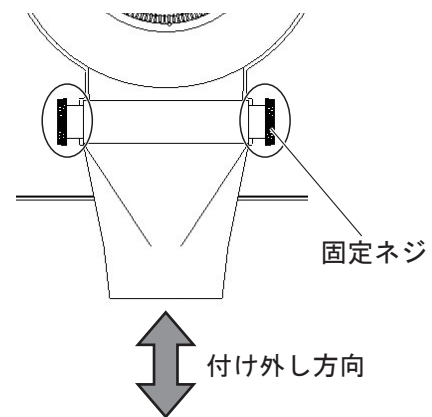
### お願い

- ・清掃をするときは、クレンザー、酸類、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使わないでください。キズがついたり、破損の原因になります。

### 1 「粉取出しノズルを洗浄してください。」

左右の固定ネジを取り外して粉取出しノズルを下に引っ張って取り外してください。  
※固定ネジは、紛失しないよう注意してください。

中性洗剤で洗い、十分に乾かしてから元通り取り付けてください。



### 2 本体の計量台などに付着しているコーヒー粉は、柔らかい刷毛やブラシで払い落とし、柔らかい布で拭いてください。

### 3 本体周辺に飛び散った粉は、掃除機などで吸い取ってください。

### 4 ホッパー内および本体外装部に付着したコーヒー豆の油汚れは、食器用中性洗剤を含ませた布かスポンジを固く絞って拭き、きれいな水で濡らした布を固く絞って十分に拭きとってください。

## 週に1回及び必要時におこなう洗浄と清掃

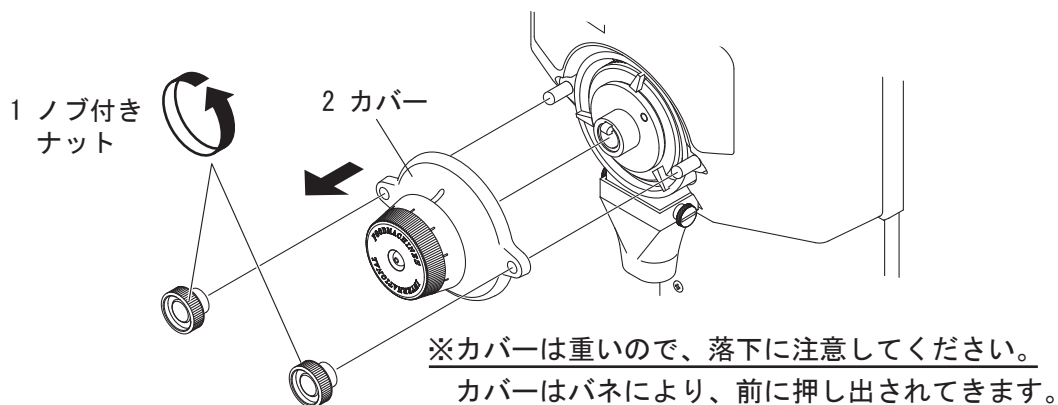
●分解清掃は、最低でも週1回及び必要時に洗浄と清掃をしてください。

### 豆詰まりや粉詰まり時の清掃方法

●カッター部分の清掃については、コーヒー粉の出かたが悪くなったり、詰まった際に実施してください。

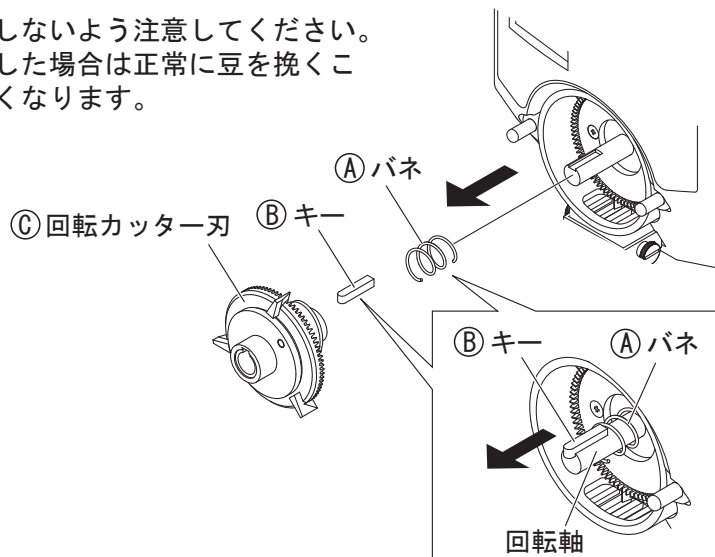
1 メイン電源スイッチをOFFにして電源コードを抜いてください。

2 カバーを片手で押さえながら、左右のノブ付きナットを取り外して、ゆっくりとカバーを取り外してください。



3 ③回転カッター刃、②キー、①バネの順番に取り外してください。

※部品を紛失しないよう注意してください。  
部品を紛失した場合は正常に豆を挽くことができなくなります。

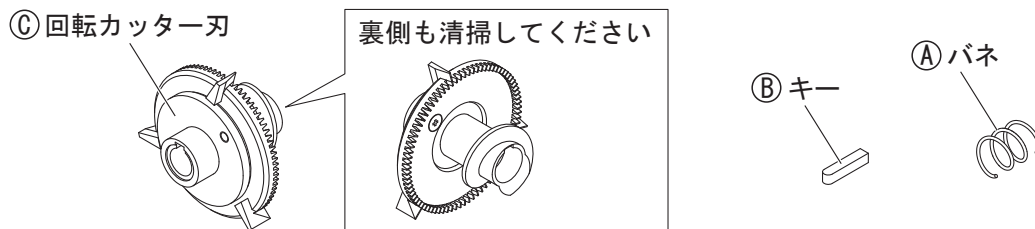




## 週に1回及び必要時におこなう洗浄と清掃

## 4 回転カッター刃、キー、バネを乾いた布やブラシなどで清掃します。

- ※水を使用せずに清掃してください。
- ※手を切らないように手袋などの保護具をつけて清掃してください。
- ※部品を紛失しないよう注意してください。
- 部品を紛失した場合は正常に豆を挽くことができなくなります。



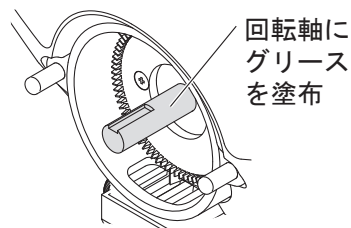
## 5 同様に固定カッター刃もブラシなどを使って清掃します。



## 6 回転カッター刃(③)が、バネ(①)の力により前後にスムーズに動くことを確認してください。

## 注意!

- ・スムーズに前後に動かない場合は、回転軸に付属のグリースを薄く塗布してください。  
スムーズでないと、メッシュの状態が不安定になったりメッシュ調節ができない場合があります。
- ・当社指定のFMIループ(グリース)をお使いください。  
(当社指定のFMIループ(グリース)の使用期限は、本機(CT-M11)購入後、6ヶ月です。)



## 7 逆の手順で元どおりに取り付ければ終了です。

- 手順3(14ページ参照)の逆の手順  
① バネ → ② キー → ③ 回転カッター刃の順番で元どおりに取り付けてください。
- 手順2(14ページ参照)の逆の手順  
ゆっくりとカバーを取り付けて、左右のノブ付きナットを取り付けてください。  
※カバーは重いので、落下に注意してください。

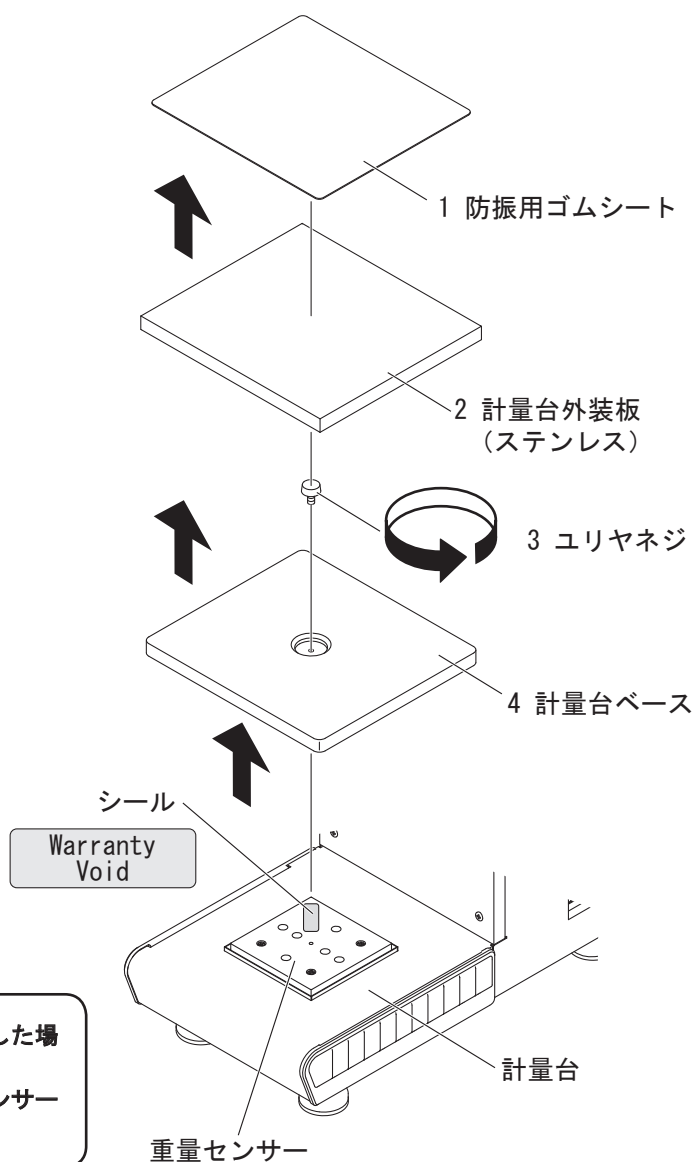
## 8 電源プラグを接続しメイン電源を入れると可動待機状態です。

## 計量台の清掃方法

1 メイン電源スイッチをOFFにして電源コードを抜いてください。

2 計量台を分解します。

- ① 1 防振用ゴムシート、2 計量台外装板（ステンレス）を取り外します。
- ② 3 ユリヤネジを回して取り外し、4 計量台ベースを取り外します。



### 注意!

- ・重量センサー部分のシールをはがした場合は、保証対象外になります。
- ・重量センサー部分を分解するとセンサーが破損し保証対象外になります。

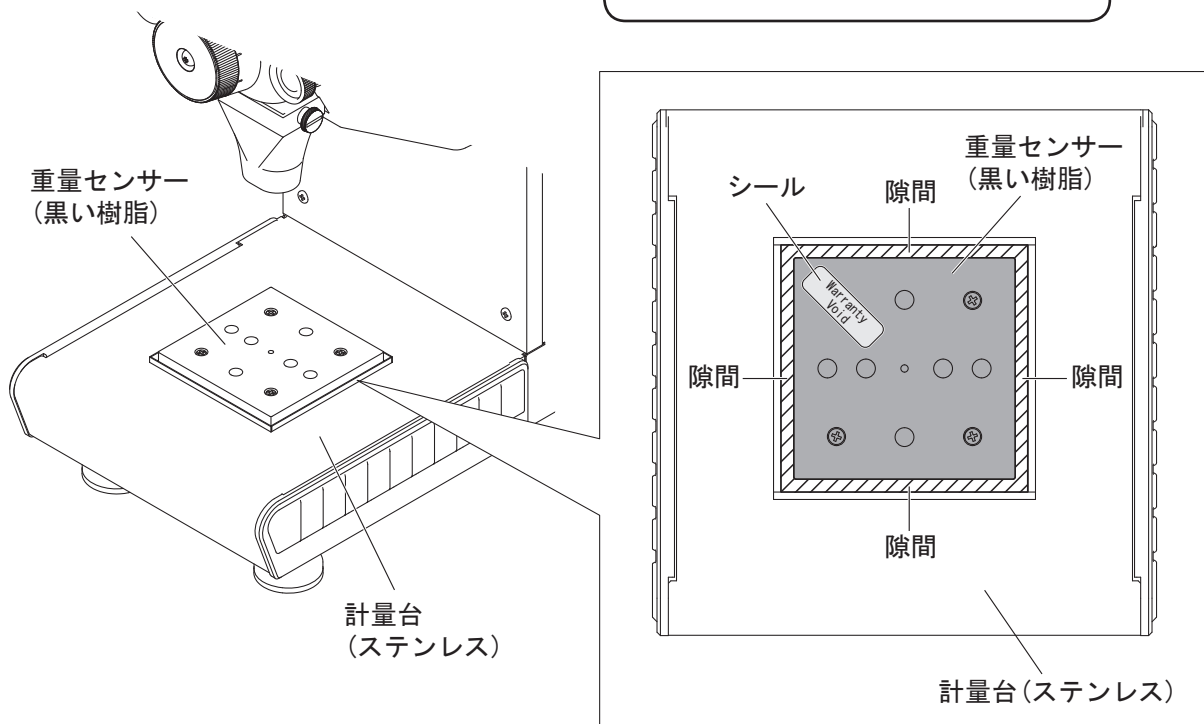
## 週に1回及び必要時におこなう洗浄と清掃

## 3 計量台周辺及び重量センサーを清掃します。

- 重量センサー(黒い樹脂)と計量台(ステンレス)の隙間に入り込んだ粉は、掃除機などで吸い取ってください。

## 注意！

- ・ 重量センサー部分のシールをはがした場合は、保証対象外になります。
- ・ 重量センサー部分を分解するとセンサーが破損し保証対象外になります。



## 4 計量台を清掃します。

- 計量台(ステンレス)に付着しているコーヒー粉は、柔らかい刷毛やブラシで払い落とし、柔らかい布で拭いてください。

## 5 清掃が終わったら逆の手順で元どおりに取り付ければ終了です。

- 手順2(16ページ参照)の逆の手順で元どおりに、取り付けてください。

## 6 電源プラグを接続しメイン電源を入れると可動待機状態です。

# 3

## 据付けについて

本機の据付け時には必ず守ってください



### 警告

- 据付工事は、お買い上げ店または専門業者に依頼すること

ご自分で据付けをされ不備があると、感電や火災の原因になります。



専門業者

- アースを必ず取ること

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。  
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。  
電気工事士によるD種接地工事が必要ですので電気工事店に依頼してください。



アース工事

- 本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備のある専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

- 電気工事は、「電機設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



電気工事

- 屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、ショート、感電の原因になります。



屋外禁止

- 湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

- 電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

## 本機の据付け時には必ず守ってください

# 注意

## ● 丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついたり、傾いていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。



水平据付

### お願い

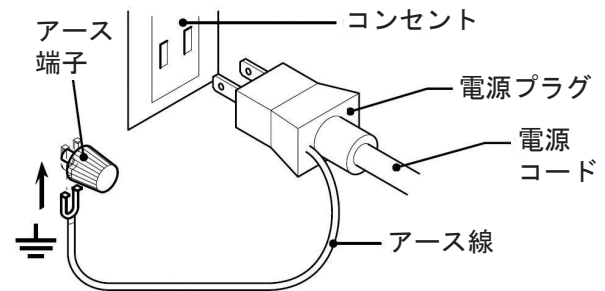
- ・本機は、精密機器ですので、取り扱いに注意してください。過度の衝撃などを与えると、故障の原因になります。
- ・本機を持ち上げるときは、本機の底部分を持って持ち上げてください。その他の部分を持つと、故障の原因になります。

## ● 作業に支障がないように、十分なスペースを確保してください。

操作スイッチが正面にくるように据え付けてください。

本機は、コンセントに電源コードを接続した場合、コードに余裕があるように据え付けてください。（電源コードの長さ：2.5m）アース線（黄/緑色の線）をアース端子に接続してください。

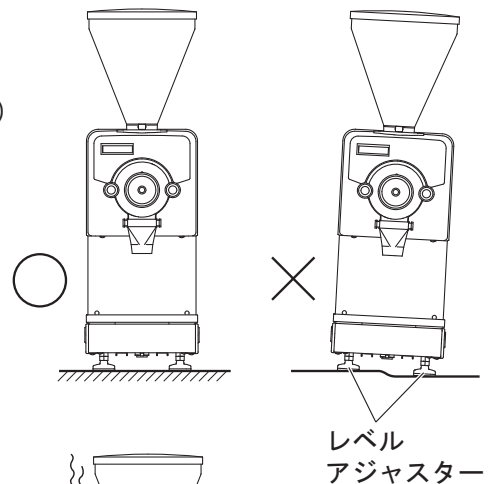
ご使用の際は、本機専用コンセントに電源プラグを差し込んでください。



## ● 丈夫で凹凸のない、水平でぐらつかない台へ据付けてください。

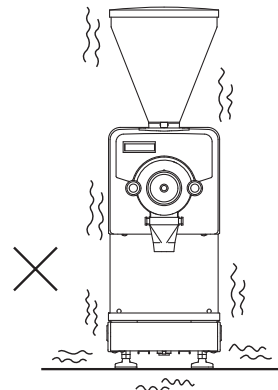
（レベルアジャスターで水平に保つことができます。）

正しく据付けしていない場合や、水平でも据付け場所がぐらついたり、たわんだりする場所では、計量スタートができなくなったり、計量結果に誤差が発生します。



## ● 振動のない所へ据付けてください。

正しく据付けしていない場合や、冷蔵カウンターなど振動が生じる台の上では、計量スタートができなくなったり、計量結果に誤差が発生します。



# 4

## 修理を依頼する前に

故障かなと思われ修理を依頼する前に、次の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「処置の方法」の欄に「お買い上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機のメイン電源スイッチを切って機械を止め、電源プラグを抜いて、早急にお買い上げ店へ連絡してください。

ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、お買上げ日、故障状況(できるだけ詳しく)をお知らせください。

症状	確認すること(または原因)	処置の方法
電源が入らない (※ディスプレイに文字が全く表示されない場合)	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグが抜けているときは、電源プラグを差し込んでください。
	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	メイン電源スイッチが『OFF』になっていませんか？	『OFF』になっている場合は、メイン電源スイッチを『ON』にしてください。『ON』になっている場合は、お買い上げ店へ連絡してください。
	漏電遮断器が切れていませんか？	『ON』になっている場合は、お買い上げ店へ連絡してください。
	機械の故障の可能性があります。	お買い上げ店へ連絡してください。
豆挽きスイッチを押しても コーヒー豆を挽かない	ホッパーのシャッターが閉じていませんか？	シャッターを開けてください。
	据え付けが悪く、がたついていませんか？	水平で平らな場所に据え付けてください。
	容器の総重量が1500gを超えていませんか？	1500g以下の容器をご使用ください。
	粉取出しノズル内にコーヒー粉が詰まっていますか？	メイン電源スイッチを切り、電源プラグを抜いた後、詰まっている粉を取り除いてください。
	モーター保護スイッチが作動していませんか？	メイン電源スイッチを切り、電源プラグを抜いた後、カッター部分の詰まりを清掃してください。清掃後、5分程度待ってからオーバーロードスイッチを押して保護装置を解除し、再度電源を入れてください。
	ミルカッターが目詰まりしていませんか？	メッシュ調節ダイヤルを回し、メッシュを粗くしてからモーターを回転させてください。 14ページの分解清掃を行ってください。 症状が改善されないときは、電源プラグを抜いた後、お買い上げ店へ連絡してください。
機械の故障の可能性があります。	お買い上げ店へ連絡してください。	
『ピピッ』と2回音がして コーヒー豆を挽かない	据え付けが悪く、がたついていませんか？	水平で平らな場所に据え付けてください。

症状	確認すること(または原因)	処置の方法
計量完了後は設定値なのに再度計りなおすと、誤差がある	静電気の影響で、計量台外装板(16ページ 手順2参照)の接触不良の可能性があります。	16ページの「計量台の清掃方法」を参照して、清掃してください。症状が改善されない場合は、お買い上げ店へ連絡してください。
正常に計量できない (豆重量が設定量に達しても運転が停止しない、計量運転時の挽き豆量が多すぎるなど)	電源ON時にゴムシート以外のものが計量台の上にありますか？	電源を一度OFFしてください。計量台の上にゴムシート以外のものがないことを確認してから、再度電源をONして、計量器のゼロ調整を行ってください。
	ホッパーのシャッターは、全開になっていますか？	ホッパーのシャッターを、全開にしてください。
	本機や容器に何か接触した状態になっていませんか？	接触しているものを取り除いてください。
	計量台の下側部分にコーヒー粉などの異物が堆積していませんか？	電源プラグを抜いた後、異物を取り除いてください。
	据え付けが悪く、がたついていますか？	水平で平らな場所に据え付けてください。
	粉出しノズル内にコーヒー粉が詰まり気味ではありませんか？	メイン電源スイッチを切り、電源プラグを抜いた後、詰まっている粉を取り除いてください。
	機械の故障の可能性があります。	お買い上げ店へ連絡してください。
本体から異常音が発生する	丈夫な所に設置していますか？	不安定な場合には、お買い上げ店へ連絡してください。
	据え付けが悪く、がたついていますか？	水平で平らな場所に据え付けてください。
	本機に何か接触した状態になっていませんか？	接触しているものを取り除いてください。
	カッター部に異物が噛みこまれていますか？	メイン電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、お買い上げ店へ連絡してください。
	ホッパー蓋、ゴムシートなど正しくセットされていますか？	正しくセットしてください。
	機械の故障の可能性があります。	お買い上げ店へ連絡してください。
メッシュが粗すぎる	カッター部分が目詰まりしている可能性があります。	10ページの「メッシュの調節について」を参照して、メッシュの調節をおこなってください。 または、14ページの「豆詰まりや粉詰まり時の清掃方法」を参照して分解、清掃を行ってください。 症状が改善されない場合は、お買い上げ店へ連絡してください。
	カッター部分が摩耗している可能性があります。	

症状	確認すること(または原因)	処置の方法
メッシュ調節しても粉の粗さが変化しない	回転カッター刃が前後にスムーズに動きますか？ (15ページ 手順6参照)	14ページの「豆詰まりや粉詰まり時の清掃方法」を参照して分解、清掃を行ってください。 回転カッター刃がスムーズに動かない場合は、付属のグリースを薄く塗布してください。 症状が改善されない場合は、お買い上げ店へ連絡してください。
漏電遮断器が切れる	漏電遮断器のレバーの位置が「OFF(切)」になっていませんか？	漏電遮断器が「OFF(切)」に作動した場合には、お買い上げ店へ連絡してください。 レバーが「OFF(切)」になっていると漏電している可能性があります。 無理にレバーを「ON(入)」にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードが異常に熱くなっている	電源コードを束ねていませんか？	電源コードを束ねている場合は、解いてください。
	電源コードをものなどで挟み込んでいませんか？	電源コードを挟み込んでいるものを取り除いてください。

※もし上記に記載している以外にも異常な点が見られましたら、機械の使用を停止してメイン電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてから、お買い上げ店へ連絡してください。



# 仕 様

品 名	計量機能付きドリップコーヒー専用ミル
型 式	CT-Mill
外 形 寸 法	幅225・奥行435・高さ710 (mm)
質 量	22kg
電 源	100V 50/60Hz
電 流	6.5A
消 費 電 力	400W
安 全 装 置	モーター保護装置あり
ホッパー容量	1.0kg (コーヒー豆量)
豆挽き量設定	15~999g
計量精度	設定値に対して±3g 当社テストによる ※メッシュ変更直後やホッパーの詰まりなどにより、誤差が変わる場合があります。
電 源 コー ド	長さ : 2.5m

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

## 付属品

【はじめに、下記の付属品がそろっているかチェックしてください。】

No.	品 名	個数
1	ホッパー (蓋付)	1個
2	コーヒー豆受けカップ (300g)	1個
3	粉取出しノズル (固定ネジ2個)	1セット
4	ブラシ	1本
5	FMIループ (グリース10g)	1個
6	防振用ゴムシート	1枚
7	計量台外装板 (ステンレス)	1枚
8	取扱説明書 (本書)	1冊

## 別売

No.	品 名	個数
1	FMIループ (グリース120g)	1個



## 保証書（別添付）について

保証書の内容をよくお読みのうえ、必要事項を必ずご記入ください。  
保証書から返信ハガキを切取っていただき、保証書は紛失にご注意され、お客様にて大切に保管してください。  
返信ハガキは商品ご購入後、1か月以内にご返信ください。

## 消耗部品

本商品の消耗部品は以下のものになります。

回転カッター	回転カッターAssy	ブラシ
防振用ゴムシート	コーヒー豆受けカップ(300g)	粉取出しノズル(固定ネジ2個)
FMIループ(グリース10g)	—	—

## 補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品とは、本商品の性能を維持するために必要な部品です。

弊社では、本商品の補修用性能部品の保有期間は、販売打ち切り後8年とさせていただきます。

# 株式会社 エフ・エム・アイ

東 京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大 阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営 業 所 札 幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙 台：〒983-0039 仙台市宮城野区新田東1丁目15番6号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広 島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福 岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北 陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖 縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス 盛 岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四 国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>